

# NY マーケットレポート (2019年6月6日)

## 2019年6月6日(木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	20774.04	-2.06	3.79%
ハンセン指数	26965.28	+69.84	4.33%
上海総合	2827.80	-33.62	13.39%
韓国総合	2069.11	+2.14	1.38%
豪ASX200	6383.00	+24.48	13.05%
シンガポールST	3146.18	+3.81	2.52%
インドSENSEX	39529.72	-553.82	9.60%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	108.50	108.56	108.03
EUR/JPY	122.30	122.40	121.30
GBP/JPY	137.68	137.81	136.99
AUD/JPY	75.68	75.78	75.28
EUR/USD	1.1272	1.1309	1.1203
BRL/JPY	27.831	27.971	27.682
RUB/JPY	1.661	1.662	1.644

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7259.85	+39.63	7.90%
仏CAC40	5278.43	-13.57	11.58%
独DAX	11953.14	-27.67	13.20%
スペインIBX35	9169.20	+18.70	7.37%
イタリアFTSE MIB	20177.81	+22.08	10.12%
トルコ・イスタンブール100	休 場		#VALUE!
ロシアRTS	1319.85	+16.50	23.50%
南ア全株指数	57090.53	+17.15	8.26%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1342.70	+9.10	4.79%
NY 原油	52.59	+0.91	15.81%
CBOTコーン	420.50	+5.75	12.13%
CRB指数	173.868	+1.529	2.39%
ドル指数先物	97.044	-0.276	0.91%
VIX指数	15.93	-0.16	-37.33%

\*トルコ市場はRamazan Bayramiのため休場

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25720.66	+181.09	10.26%
S&P500	2843.49	+17.34	13.43%
NASDAQ	7615.55	+40.08	14.77%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16227.80	+15.14	13.30%
メキシコ・ボルサ指数	43147.83	-272.55	3.62%
ブラジル・ボベスパ指数	97204.85	+1206.10	10.60%

x一部暫定値

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	7720	7755
CME Bitcoin(先物・期近)	7715	7785
Ripple (BSTP)	0.416	0.398
Ethereum (BSTP)	241.33	244.06
Bitcoin Cash	383.04	393.74

### 6/7 経済指標スケジュール

08:30	【日本】4月毎月勤労統計[現金給与総額]
08:30	【日本】4月家計調査消費支出
08:50	【日本】5月外貨準備高
10:30	【オーストラリア】4月住宅ローン約定件数
14:00	【欧州】4月景気一致CI指数
14:00	【欧州】4月景気先行CI指数
14:45	【スイス】5月失業率
15:00	【ドイツ】4月経常収支
15:00	【ドイツ】1Q労働コスト
15:00	【ドイツ】4月鉱工業生産
15:00	【南アフリカ】5月外貨準備高
15:00	【ノルウェー】4月GDP
15:45	【フランス】4月経常収支・4月貿易収支
15:45	【フランス】4月製造業生産指数・4月鉱工業生産
16:30	【英国】5月ハリファックス住宅価格
21:30	【米国】5月失業率
21:30	【米国】5月非農業部門雇用者数
21:30	【米国】5月製造業雇用者数
21:30	【米国】5月平均時給
21:30	【カナダ】5月失業率
21:30	【カナダ】雇用ネット変化率
21:30	【カナダ】労働参加率
23:00	【米国】4月卸売在庫
23:00	【米国】4月卸売売上高

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.203%	-0.219%
5年債	-0.234%	-0.240%
10年債	-0.120%	-0.123%
30年債	0.409%	0.416%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	-0.239%	-0.226%
英国10年債	0.825%	0.863%
フランス10年債	0.120%	0.150%
米国債利回り		
2年債	1.879%	1.857%
3年債	1.842%	1.823%
5年債	1.883%	1.876%
7年債	2.002%	2.012%
10年債	2.117%	2.135%
30年債	2.613%	2.647%

### 6/7 主要会議・講演・その他予定

- ・中国・香港市場休場
- ・黒田日銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・G20財務相・中央銀行総裁会議 (8日~9日 福岡)

## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

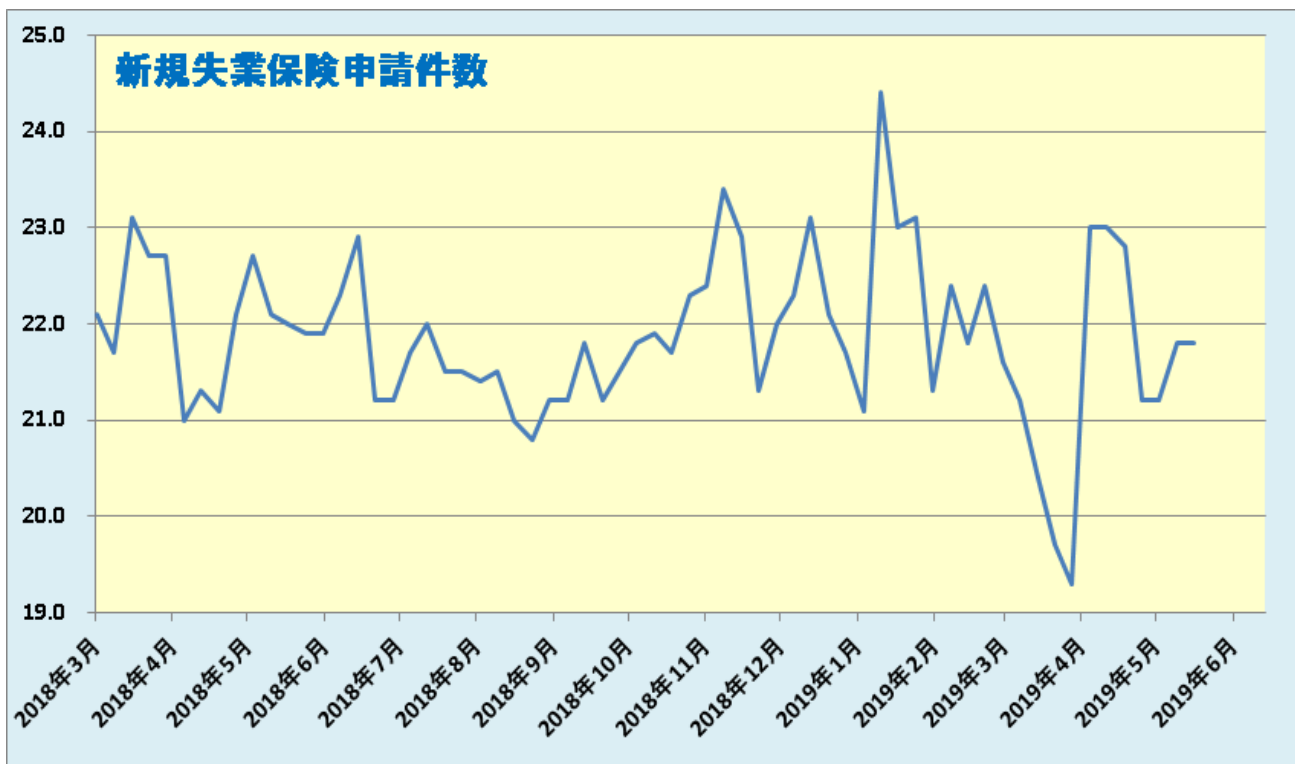
対中、対日赤字が増加したことから、今後の通商交渉を巡る先行き懸念が意識され、序盤のドルは上値の重い動きとなった。その後、米政権がメキシコに対する関税発動の延期を検討しているとの報道を受けて、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、相対的に安全な通貨とされる円を売ってドルを買う動きが優勢となった。一方、ECB 理事会では、フォワードガイダンスが変更（政策金利を 2020 年上期末まで維持に変更、従来は 2019 年末まで）されたものの、ドラギ総裁の会見で具体的に利下げに関する言及がなかったことなどもあり、予想ほどハト派的ではなかったと受けとめられ、ユーロはドルや円に対して堅調な動きとなった。

### 主要な米経済指標結果

新規失業保険申請件数 21.8 万件（予想 21.5 万件・前回 21.5 万件⇒21.8 万人）

失業保険継続受給者数 168.2 万人（予想 166.0 万人・前回 165.7 万人⇒166.2 万人）

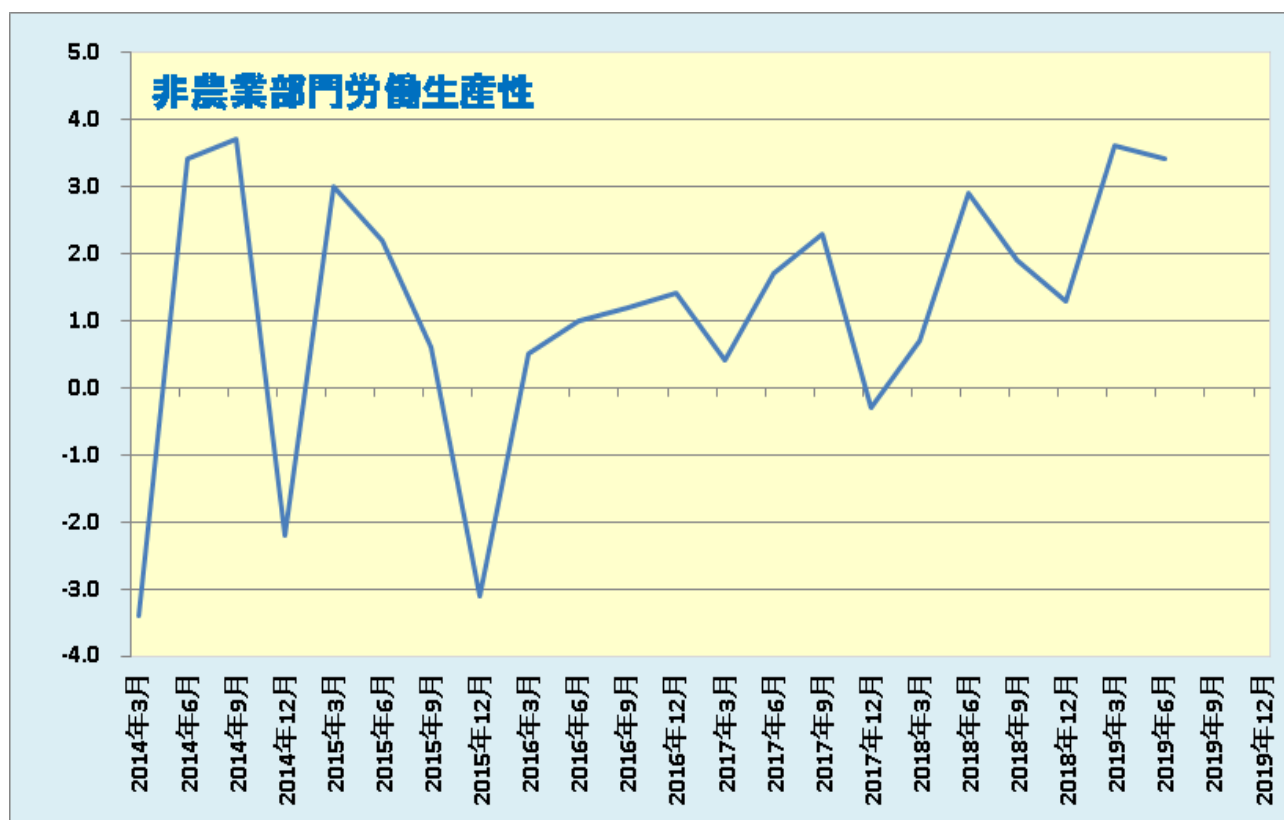
米失業保険申請件数は、前週比変わらずの結果となり、市場予想を上回った。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-2500 件の 21.5 万件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.0 万人となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-0.1 万人の 162.27 万人だった。



データを基に SBILM が作成

**1Q 非農業部門労働生産性（前期比年率） 3.4%（予想 3.5%・前回 3.6%）**

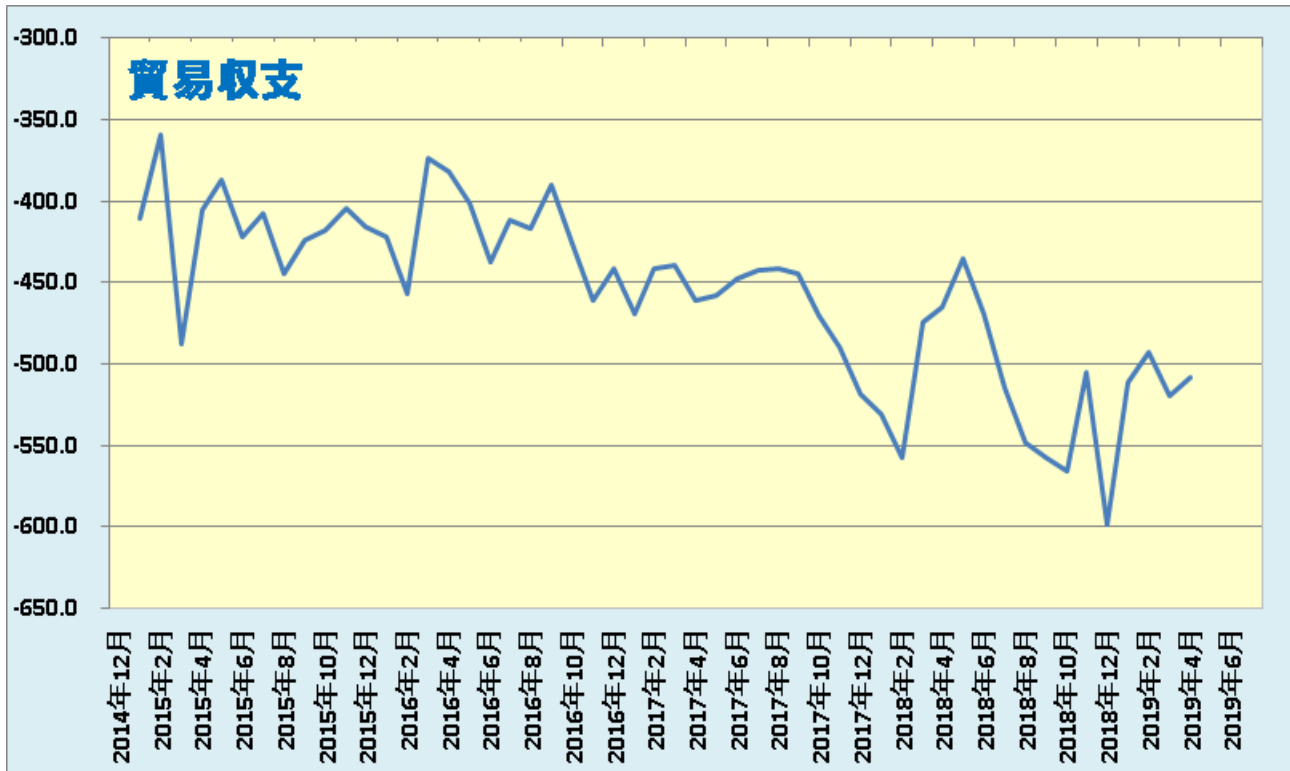
1-3 月期の米非農業部門の労働生産性の確定値は、市場予想を下回った。前年比では+2.4%だった。統計データを見ると、賃金の指標となる単位労働コストは前期比-1.6%（速報値-0.9%、前期-0.4%）労働生産性では、生産が+3.9%（4.1%、2.6%）、労働時間が+0.5%（0.5%、1.3%）、時間あたり実質給与は0.9%（1.7%、-0.6%）だった。



データを基に SBILM が作成

**4 月貿易収支 -508 億 USD（予想 -506 億 USD・前回 -500 億 USD⇒-519 億 USD）**

4 月の米貿易収支では、赤字額が前月比-2.1%となったが、引き続き 500 億ドルを上回った。注目された対中赤字は、前月比+29.7%の 269 億 300 万ドル（約 2 兆 9000 億円）、対日赤字は+9.6%の 72 億 4200 万ドルと、2008 年 4 月以来 11 年ぶりの高水準となった。一方、対メキシコ赤字は-14.1%の 81 億 6700 万ドル、対ドイツ赤字は+4.3%の 58 億 7200 万ドルだった。



データを基に SBILM が作成

### ダウ平均は4営業日続伸、ナスダックは3営業日続伸

米株式市場は、米国の利下げ観測を背景に序盤から底固い動きとなった。その後、トランプ政権がメキシコに対する関税発動の先送りを検討しているとの報道を好感し、主要株価指数は続伸となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、終盤には一時前日比 260 ドル高まで上昇した。引けにかけては、やや上げ幅を縮小したものの 181 ドル高で終了となり、4 営業日続伸となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、序盤はやや上値の重い展開となったものの、終盤にかけては堅調な動きとなり、40 ポイント高で終了し、3 営業日続伸となった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	2.29%	1	シェブロン	2.58%
2	素材	1.43%	2	エクソン	1.82%
3	テクノロジー	1.17%	3	J&J	1.71%
4	通信サービス	0.89%	4	マイクロソフト	1.58%
5	消費者サービス	0.81%	5	アップル	1.47%

データを基に SBILM が作成

## ユーロは主要通貨に対して上昇、ドルは円に対して底固い動き

序盤に発表された米貿易収支で、対中赤字が前月比+29.7%となったことや、対日赤字が+9.6%と2008年4月以来11年ぶりの高水準となったことを受けて、今後の通商交渉を巡る先行き懸念が意識され、ドル上値の重い動きとなった。その後、米政権がメキシコに対する関税発動の延期を検討しているとの報道を受けて、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、相対的に安全な通貨とされる円を売ってドルを買う動きが優勢となった。ドル/円は、108.56まで上昇し、1週間ぶりの高値を付けた。一方、ECB理事会では、政策金利を2020年上期末まで維持する方針が示され、従来の2019年末までから見通しが延期されたものの、ドラギ総裁の会見で具体的に利下げに関する言及がなかったこともあり、予想ほどハト派的ではなかったと受けとめられ、ユーロはドルや円に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。